



【新幹線定期報告】

令和3年7月19日
新幹線事業対策室

1. 概況 (西九州新幹線(長崎～武雄温泉)の進捗)

令和3年6月末時点での工事進捗および用地進捗状況は下記のとおりとなっている。

○工事進捗状況(長崎～武雄温泉) (R3.6月末時点)

区分	進捗状況		
土木工事	工事延長 67.0km (長崎県 49.2km、佐賀県 17.8km) ・本線土木工事は、R2.9.23 をもって完成率が100%となった ・土木の付帯工事は、引続き実施中 ・長崎県内の主要な土木工事 40 工事中 31 工事が竣工 (R3.7.9 時点)		
建築工事	駅舎工事	新大村駅	外観がほぼ完成し、内装などを施工中で、令和4年3月頃まで工事がかかる見込み
		諫早駅	駅舎がほぼ完成し、内装の仕上げ中で、令和4年3月頃に竣工予定
		長崎駅	鉄骨組立や屋根の施工が完了し、外装も概ね完了、内装などを施工中で、令和4年3月頃まで工事がかかる見込み
軌道工事	レール敷設はルート全体で約61km、約92%が完了 長崎県内では約43km、約88%が完了 (東彼杵町・大村市内はレール敷設完了、諫早市・長崎市内で順次レール敷設中)		
電気工事	新幹線の運行に必要な電気を供給する変電設備は概ね完成しており、電車にパンタグラフを通して電気を供給する架線(トロリ線)や、先行や発車時刻などの情報を表示する案内表示装置(発車標)、駅構内の無線・監視カメラなどを施工中 (ルート全体の電気工事進捗率は約76%) 大村車両基地の変電設備において、7月下旬に国による完成検査が行われる予定で、合格すれば8月中旬頃から受電予定		
機械工事	諫早駅の昇降設備(エレベーターとエスカレーター)と新大村駅のエレベーターの設置が完了しており、新大村駅のエスカレーターと長崎駅の昇降設備を設置中、また3つの駅の可動式ホーム柵を製作中 未着手である各駅の出改札機は、秋頃から製作を開始し設置予定		
大村車両基地	造成工事が完了しており、基地内の建物の建築工事を実施中 レール敷設工事や電気工事(トロリ線や構内無線設備など)、機械工事(臨時的に発生する運転席の窓ガラス交換やパンタグラフ交換を行うための昇降式作業台の設置など)も順次実施中		

※竣工予定時期は、鉄道・運輸機構への聞き取り、またはとりまとめ時点での契約工期の工期末月を示したものであり、今後変更の可能性がある。

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものである。

※土木工事の完成については、トンネルは覆工完了、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了、路盤は施工基面完了をもって、完成と整理されている。

※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

○用地取得実績（長崎県内）（R3.6月末時点）

長崎県全体	東彼杵町	大村市	諫早市	長崎市	全体
取得予定面積 （地上権設定含む）	7.7 ha	33.9 ha	18.9 ha	10.3 ha	70.8 ha
取得済面積 （地上権設定含む）	7.7 ha	33.7 ha	18.9 ha	10.1 ha	70.4 ha
進捗率	100%	99%	100%	98%	99%

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。

※買収予定面積は、用地丈量、設計、協議の進捗に伴い変更を行う。

※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

2. 入札公告・結果

令和3年6月18日から7月15日までに、工事1件（長崎県1件）、委託1件（佐賀県1件）の入札公告が行われた。また、工事1件（長崎県1件）の入札が行われた。

入札公告および入札が行われた長崎県に係る工事は、以下のとおり。

<入札公告>

- 工 事 名：九州新幹線（西九州）、33k8・44k1 間高架下整備他
- ・公 告 日：R3.7.15 ・入札予定日：R3.9.6
- ・工 期：12 箇月 ・工事場所：大村市・諫早市
- ・工事概要：33 k m799m～44 k m057m（延長 10,258m）間の分水楯工、排水構造物工、用地諸設備、用地諸標工、道水路付替工、監査・検査補助業務等を行う工事。（営業線近接作業を除く）

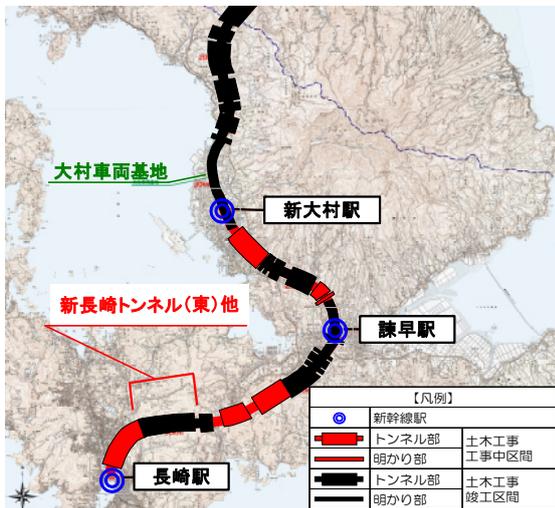
<入札結果>

- 工 事 名：九州新幹線（西九州）、44k1・66k1 間線路諸設備他
- ・請負業者：東急建設（株）<東京都> ・契約金額：253,000,000 円（税込）
- ・契 約 日：R3.7.15 ・工 期：R3.7.16～R4.3.15
- ・工事場所：諫早市・長崎市
- ・工事概要：44km057m～66km101m（延長 22,044m）間のうち横坑閉塞工、排水構造物工、保守用通路工、緩衝工窓塞工、防護設備工、用地諸設備、監査・検査補助業務等を行う工事。

3. 工事の竣工（R3.7.9時点）

長崎市内において、平成25年3月1日より進められていました「新長崎トンネル（東）他」工事（受注者：鴻池・日本国土・西部・竹下JV）が、令和3年6月30日に竣工した。

この工事では、工事長4,015m間で、西九州新幹線（長崎～武雄温泉）で最も長いトンネルである、延長7,460mの新長崎トンネルを東西二つに分けた東側3,885m部分と、隣接する平間トンネルとの間の路盤や橋りょう、保守用斜路の施工が行われた。



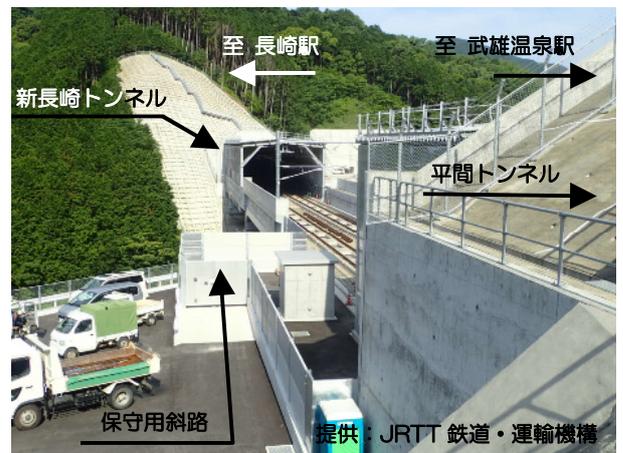
位置図



完成した新長崎トンネル坑口付近（東側）



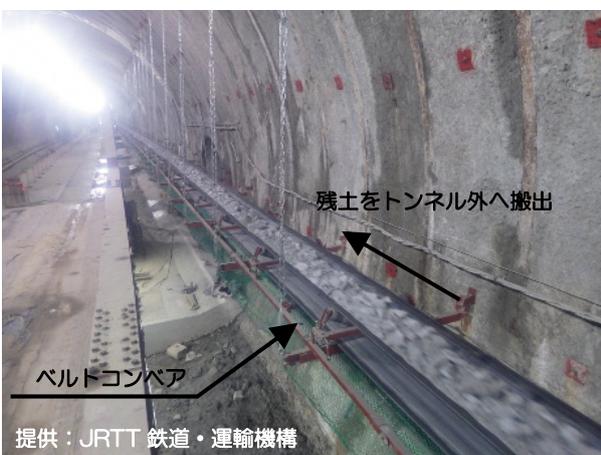
完成した新長崎トンネルの入口（東側）



新長崎トンネルと平間トンネルの間

なお、本トンネルは施工延長が長いため、残土は大部分をベルトコンベアによって搬出され、効率的・経済的に施工が行われた。

また、掘削前に直径 13cm 程の穴をあけ水を排水し（「水抜きボーリング」と言います。）、山に含まれる水の量を減少させ、掘削時の崩落リスクを低下させる対策がとられた。長いもので 150m の水抜きボーリングが行われた。



ベルトコンベアによる残土搬出状況



水抜きボーリング施工状況

この工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事 40 工事のうち 31 工事が竣工した。